

G I G Aスクールが始まりました

主催	—
日時	—
場所	—
内容	令和3年4月より、小・中・養護学校において、1人1台パソコン、大型提示装置、学習コンテンツ（授業支援ソフト、デジタル学習ドリル）等を活用した授業が始まりました。 各教室に配備された大型提示装置を活用した一斉学習、1人1台パソコンや授業支援ソフトを活用した協働学習、デジタル学習ドリルを活用した個別学習に加え、通信手段として地域BWA（LTE通信）を利用しており、運動場や校外でのフィールドワークにおいてもパソコンを活用した学習ができます。 大型提示装置は、すべての学校ですでに導入済みで、全学年において活用を開始しています。1人1台のパソコンについては、高学年から順次行うこととしており、中学生、小学6年生及び教員については既に導入が完了し、4月から活用を開始しています。 なお、LTE通信に対応するSIM内蔵のパソコンを設計・開発するのに時間を要したことと、アメリカの中国への経済制裁及び新型コロナウイルスの影響により、生産に遅れが生じており、全児童・生徒への整備が完了するのは、6月上旬頃になる予定ですが、導入した学年から順次活用を開始します。
対象（参加者）	—
定員	—
参加費	—
申込先・方法	—
目的・背景 その他	—
市ホームページ	掲載しない
広報かこがわ	掲載しない

GIGAスクール構想 ICT活用スケジュール

4月からスタート

電子黒板機能付き大型モニタ・実物投影機・授業者用パソコンを活用した学習
全小・中・養護学校

一斉学習

- ・電子黒板機能付き大型モニタを使って資料をわかりやすく提示・説明
- ・実物投影機を使ってわかりやすく提示
- ・授業者用パソコンを使って体育の実技を動画で撮影し、動きを確認
- ・授業者用パソコンを使って学習内容を記録し授業の振り返りに活用



協働学習

- ・児童生徒のノート等を大型モニタに投影し、電子黒板機能を使って発表



4月

5月

6月

7月

学習者用パソコンを活用した学習

中学校全学年・小学校6年生・養護学校

小学校5・4年生

小学校3・2年生

小学校1年生

協働学習

- ・授業支援ツールを使って一人一人の考えをリアルタイムで共有し、考えを深める学習（協同的探究学習）



個別学習

- ・デジタル学習ツールを使って児童生徒一人一人の学習状況に応じた個別学習
- ・学習者用パソコンを使って調べ学習や、デジタル教材を活用した学習
- ・教室外で写真や動画を撮影して授業で活用



家庭学習

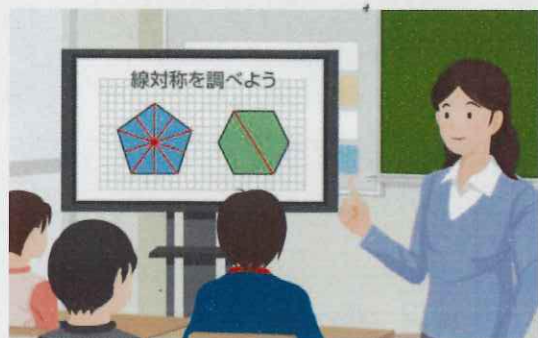
- ・Google Workspaceやデジタル学習ツールで学習



5月から試験的に持ち帰りを開始

かこがわスマートスクールの実現へ *Kakogawa Smart School*

1人1台端末は、令和の学びのスタンダード



超スマート社会(Society5.0)を生きる子どもたちに必要な資質・能力を、一層確実に育成できる教育ICT環境の実現へ



これまでの教育実践の蓄積

×

ICT

=

学習活動の一層の充実と授業改善

これまでの環境

一斉学習

子どもたちの興味・関心・意欲を高めるために、教師が黒板や掲示物等を用いて説明する
(多くの時間と労力を要する)

個別学習

全員が同時に同じ課題で学習する
(一人一人の学習状況や理解度等に応じた学びが難しい)

協働学習

子どもたちが発表し、板書や発表ボードで共有する
(発表する子どもに限られ、全員の意見を聞くことが難しい)

学びの深化

学びの転換

学びの共有

「1人1台端末」の環境

- ・視覚的で分かりやすい教材を活用して、学習課題を提示・説明することができる
 - ・一人一人の考えや学習状況を把握し、双方向型の一斉授業が可能になる
- ⇒子どもたちの興味・関心・意欲の向上と、教員の業務改善につながる

- ・同時に別々の内容を学習できる
 - ・個別の学習履歴が自動的に記録される
- ⇒一人一人の教育的ニーズや、学習状況に応じた個別学習が可能になる

- ・一人一人の考えをお互いにリアルタイムで共有することができる
 - ・子ども同士で双方向の意見交換が可能になる
- ⇒一人一人の意見が生かされるとともに、協同探究の時間が確保できる

一斉学習での活用

視覚的で分かりやすい教材を活用して、

学習課題を提示・説明することで、子どもたちの興味・関心・意欲を高める。

拡大提示



实物投影机を使って
わかりやすく提示



实物投影机を使って
拡大して模範を提示

学習状況の把握



Chromebookを使って一人一人の
考えや学習状況を把握

授業内容の振り返り



板書を Chromebook のカメラで
撮影して、振り返りに活用

個別学習での活用

調査活動



Chromebook を利用した
Web 検索等の調べ学習

デジタル教材の活用



QR コードリーダーで教科書等の
デジタル教材を活用

技能の習得・向上



活動の様子を記録・再生して
自己評価による練習

同時に別々の内容を学習することで、子どもたち一人一人の理解や関心の程度に応じた学習ができる。

デジタル学習ツール ドリルパーク



教科書に準拠したデジタルドリル

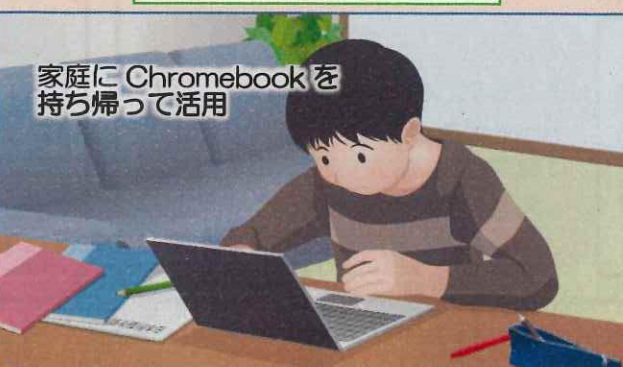
児童生徒の機能

- 自動採点、自動集計
- 繰り返し学習が可能
- ゲーム的要素を取り入れ、よりやる気を促進

先生の機能

- リアルタイムに子どものつまずきを発見
- 詳細な履歴管理機能
- オリジナル問題の作成

家庭学習



家庭に Chromebook を
持ち帰って活用

協働学習での活用

考えや意見の発表



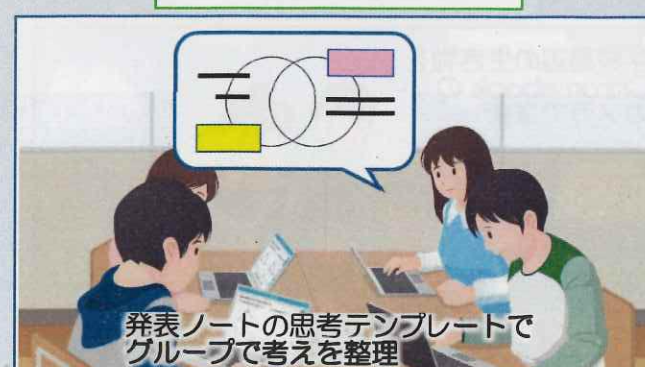
SKYMENU Cloud でまとめた内容を、
大型提示装置などに投影してみんなの
前で発表

話し合い



発表ノートのグループワークで多様な
意見に触れることで深い学びを実現

協働での意見整理



発表ノートの思考テンプレートで
グループで考えを整理

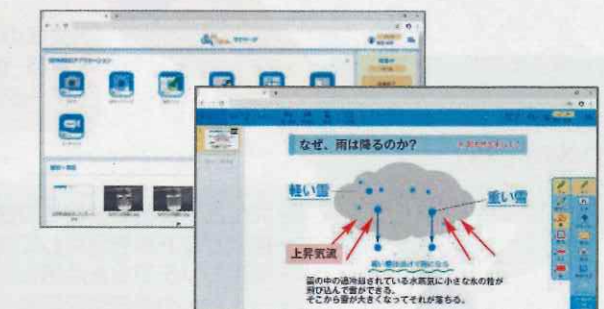
一人一人の考えをお互いにリアルタイムで共有することができる。

授業支援ツール SKYMENU Cloud

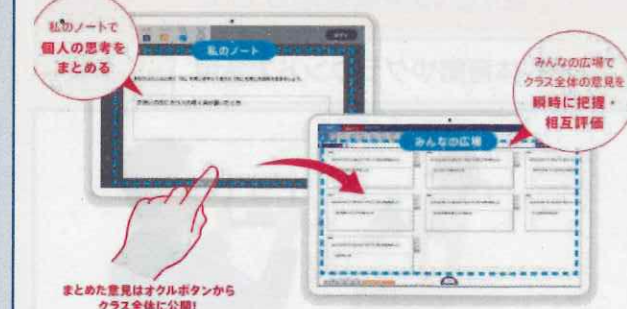
一斉学習や協働学習、個別学習など、さまざまな
学習活動の中で活用

機能概要

- マイページ
- カメラ活用
- 発表ノート
- シンプルプレゼン
- ポジショニング
- QR コードリーダー
- 電子連絡板
- 管理サイト



授業支援ツール ムーブノート



- 全員の意見が見える化
- ワークシートを多彩搭載
- 多彩な集計機能で全員参加型の授業を実現

加古川市の教育 ICT 環境整備

① 1人1台の学習端末

すべての児童生徒に1人1台端末と授業者用の端末を約22,500台配備。

② LTE での通信環境

端末はLTE（地域BWA）に対応し、教室だけでなく、地域や家庭でも活用することが可能。

③ 学習コンテンツ

一斉学習や協働学習に対応した授業支援ツール、個々の理解や関心に対応したデジタル学習ツールを導入。

④ 大型提示装置・実物投影機

ICTを活用した授業に必要な電子黒板機能付き大型モニターと実物投影機を配備。

ICT を活かした学びの変容イメージ

・探究のプロセスにおける様々な場面において、ICTの効果的な活用

Step3 教科等の学びをつなぎ探究する。
社会課題の解決に生かす。

Step2 教科の学びを深める。
教科の学びの本質に迫る。

Step1
「すぐにでも」
「どの教科でも」
「誰でも」活かせるICT

- ・文章の校閲機能を用いた推敲と過程の共有
- ・実験・観察・実技を、動画等を使ってより深く分析・考察
- ・データ・情報の加工や変化の様子の可視化・統合による深い分析

- ・大型提示装置に教材等の提示
- ・検索サイト等を活用して情報収集
- ・学習コンテンツを活用して考えや意見を共有
- ・一人一人の学習状況に応じた個別学習

LTE の特徴を活かして

体育館やグラウンドで活用



教室を離れてインターネットに接続して活用することができます。

学校周辺で活用

学校周辺の生き物を
Chromebook の
カメラで撮影

